

分野（観光）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	食(グルメ)を活かした商品づくり		交流人口を増やす＝お金を落としてもらう
2	宿泊による観光業の推進		琴浦の自然・歴史等を体験してもらう
3	情報発信の強化		琴浦ブランドの認知度の向上
4	周遊性の強化・2次交通の推進		道の駅の拠点化、観光地周遊の交通手段
5	インバウンド対策		外国人観光客の誘致
6	体験型観光商品		滞在型観光を推進

分野（商工業）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	町内で買い物を進める	町民全体	町内経済循環を図る。所得水準を向上させる。
2	働きやすい環境づくり	経営者	従業員の仕事と家庭の両立推進を図る。
3	起業支援対策の充実	起業希望者	町内にない業種の起業促進及び空き家・空き店舗の利活用推進
4	起業した人、事業を営んでいる人に話を聞く	起業希望者	起業した先輩や会社経営者に起業をするにあたっての経営や資金面等のアドバイスをもらい持続可能な起業を目指す。
5	中学校授業地元企業人紹介	中学生	ふるさとへの愛着心を育てることにより働く意欲を持たせる。 地元企業を知ってもらう
6	教育の中でお金の勉強	小中学生	生活する上で、どのくらいのお金が必要なのか学び、自分の将来プランを考えさせる。
7	インターネットで売るしくみをつくる	企業	自社商品の販路拡大
8	Wワークの推進	働きたい希望のある人	人手不足解消
9	コワーキング	起業家等	廃校や空き施設の利活用
10	地元の産物を安く売る	農業生産者等	地産地消推進を図るため
11	白バラ牛乳を使った商品を作る専門店	観光客・町民	白バラブランドの発信、町外者を呼び込みお金を落としてもらう。
12	商品に付加価値を付ける	観光客	付加価値を付け売上げアップを図る。
13	企業やコンサルタントがアイデアの審査をする	起業希望者	実現可能なアイデアを審査。企業がアイデアを買い取る仕組みを設ける。

14	道の駅の夜間営業	利用者	夜間の集客を図る
----	----------	-----	----------

分野（農林水産業）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	農業のイメージアップ	就農希望者、一般の人	農業がきつい、儲からないといったマイナスイメージを払拭し、就農希望者の確保につなげる
1	スマート農業	農業者	ベテラン農業者の栽培管理を数値化し、新規就農者の技術習得支援、産地での品質向上及び収量増加を目指す。
3	地産地消	一般の人	町内農畜水産物を町内で食べられる場所を支援し、農業への理解、消費拡大につなげる
4	ブランド化	一般の人	町内の農畜水産物の消費拡大を図る。
5	特産品を生み出す	農業者	コアな商品開発を行い、農家の収入安定を図る。
6	農業体験（就業体験）	幼児、児童、生徒	小さいころから農業に関わり、理解を深める
7	農業学校	就農希望者、農業後継者候補	年数回、初心者を対象に一から栽培を学ぶ講座を開設し、就農促進を図る。
8	農業体験（体験型観光）	町内への観光客	農業体験による観光客増を図る

分野（健康）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	中高年の健康づくり	町民（40歳～65歳）	中高年の健康づくりをはかり、生活習慣病の予防を行う
2	親子体力づくり教室もしくは子供向けスポーツ塾	町民	子どものときからの運動習慣定着の推進をはかるとともに、親世代のトレーニングルーム利用時間中のトレーニングルームに入れない子ども達の居場所作りをする。
3	健康食の提案	飲食店（町民）	中高年のメタボ予防、高齢者のフレイル予防
4	運動施設整備	町民	日常的な運動習慣の定着
5	高齢者サークルの増加	高齢者（65歳以上）	高齢者の社会参加を通じ閉じこもりを防ぐ
6	高齢者の生きがい作り	高齢者（65歳以上）	高齢者の社会参加を通じ閉じこもりを防ぐ
7	トレーニングルーム専門コース	町民	個人のレベルに合わせたトレーニング指導を行うことで健康寿命の延伸をはかる。
8	「パーソナルヘルスレコード（PHR）」の推進（ICT活用）	町民	身近となったスマホの機能を健康に活用し、電子記録化された健診情報や服薬履歴など自身の情報を個人が主体的に活用する「パーソナルヘルスレコード（PHR）」の推進により個人の健康づくり活動を促す
9	グリーンツーリズム	町外在住者および町民	観光×健康商品として売り出すことにより関係人口の創出、地域の健康価値を高める

分野（子育て）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	子育てと仕事の両立支援の充実（学童保育の一部民営化）	保護者の就労等で預かりが必要な子ども（小学生）	小学生の子のいる保護者（父母）が安心して働くことを目的とし、長期休業期間中の子どもの居場所を確保する。
2	地域における子どもの居場所作り	地域の小学生	子どもの居場所を確保するとともに、地域における多世代交流を深め、ふるさとへの愛着の醸成につなげることを目的に、地域で子どもを見守り・育てる場所やシステムを作る。
3	妊娠期からの地域交流促進	妊婦・産婦	社会からも孤立しがちになるため、交流の場を設置するとともに、出産・育児に備えた知識や情報の提供、悩みを共有する場が必要。
4	子育てサークルの充実（バザーなど実施）	〃	〃
5	子育て支援ボランティアの登録制度（世話焼きさん）	子ども会等	地域での行事等が簡素化されている中、人と人との関係が希薄化しているのが現状であり、地域で子どもを見守っていく意識の向上が必要。地域には専門知識や特技を持つ方が多くおられるが、活用しきれていない現状があるのでは。
6	情報提供（子どもマップ作成）	子育て世代	子どもを連れて外出を楽しみたいが、オムツ台などのある公園や飲食店が分からず、外出を控えたりすることがある。子育て世代が交流や外出を楽しむことができることを目的とし、町内の子育て応援施設の可視化を行うことが必要。
7	情報提供	子育て世代	子ども・子育てに関するイベント情報が複数課にまたがるため、必要な情報を得るのが難しい面がある。

分野（教育）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	学校と地域をつなげるコーディネーター	児童生徒、教職員、地域住民	地域の人口減少や学校との関係の希薄化などの課題解消
	コミュニティースクールへの移行	児童生徒、教職員、地域住民	教員の働き方改革 学校と地域との関係の希薄化の解消など
	サケのように帰ってくる地元・郷土愛の育成	小中学生	定住、人口減対策
	地元で就職した場合の支援	大学生等	定住、人口減対策
	教育費 経済的支援	大学生の保護者	教育費の負担で子どもを2人以上増やせない家庭へ支援、人口増対策
2	トップランナーと係わる機会	中学生	社会に有用で、かつ、ふるさとを愛し、地域とのつながりを大切に、将来にわたり本町へ貢献しうる人材を育むため
	小中学生を外国に派遣する	中学生	国際社会で通用する人材の育成
	地域にしながら世界とつながる教育 留学費などの助成 琴浦町も外国との	中学生	

	交流（学生）		
	英語 琴浦独自の取組み	小中学生	
	専門分野（英語、ICT）の教員を増やす	教員	新学習指導要領への対応
3	不登校の子どもの学習環境	小中学生	SDGs 質の高い教育を誰にも、誰一人取り残さない

分野（社会教育）

番号	未来カフェの意見	だれを対象に	なんのために、どんな課題を解決したいのか
1	図書館を集いの場に	全町民	まなびタウンの利用方法の検討（生涯学習センター→町民交流センター）に併せ、図書館も知識や情報の収集、発信の地域拠点として、相乗効果が生まれる施設とする。
2	こども塾の必修化	小学4年生～中学1年生	こどもたちが自分を取り巻く環境、人や社会との関わり方を知る学びの場を提供する。
3	琴浦の日をつくる	小・中学生 （全町民協力）	郷土愛の醸成
4	公民館で学童保育を	子育て世代	子育て支援